

# 2020年 本庄軽 ONE 耐久 規則書

2019年12月現在 vol.1

2019シリーズからの変更点は青字記載

本庄サーキット事務局

## 2020年 本庄軽 one 耐久 開催規則書

本庄軽 One 耐久は、本開催規約及び特別規則に従って開催される。

すべての参加者は諸規則を熟読、精通し遵守するとともに  
オフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

### 【1】主催・開催場所・申込・お問合せ先

〒367 - 0224 埼玉県本庄市児玉町高柳 883 本庄サーキット 本庄軽耐久レース運営委員会  
TEL:0495 - 72 - 9611 / FAX:0495 - 72 - 9612

### 【2】レース種別及び開催日

**R d . 1 2月16日(日)** / R d . 2 調整中 / R d . 3 調整中 / R d . 4 調整中  
3時間耐久クラス

### 【3】エントリーフィー

一般・会社員 ￥33,000/台(保険料別途￥500/1名)※税込

専門及び大学生 ￥31,000/台(保険料別途￥500/1名)※税込

※保険は参加選手及びピットクルーの方も加入義務があります。

学生エントリーの場合、参加者全員(ピットクルーも含む)が学生であることとする。

### 【4】参加資格

普通自動車免許証の所持者及び、**本庄サーキットのビジターライセンスもしくはメンバーライセンス所有者。**  
**ライセンスの取得は本庄サーキットフリー走行日の朝8:00もしくは昼12:00の講習を受講してください。**  
**また、エントリー完了後、大会当日までの本庄サーキットのフリー走行日に講習を受講したドライバーに関しては新規入会者に限りビジターライセンス入会費用3,500円を免除とし、メンバーライセンス入会の場合3,500円引きとする。**

※ライセンス更新及び期限切れ再講習に関しては、ライセンス代免除とはなりませんのでご注意ください。

20歳未満のドライバーが参加する場合、

親権者の署名・捺印(実印)のある未成年者 競技参加承諾書を添えてお申込みください。

### 【5】募集台数・参加人数

募集台数 - 32台(先着) 耐久クラスのドライバーは参加車両1台につき2名からとする。同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

### 【6】参加受付

電話予約後、各大会1ヶ月前から1週間前必着。また、定数になり次第受付終了します。申込み用紙、誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留又は、軽 one 耐久事務局(サーキット窓口)までお早めにお持ちください。なお、FAXでのエントリー、ご入金でのお支払いは受け付けません。

エントリー用紙、リザルトにペンネームを使用することは可能ですが、誓約書には住民票の住所氏名を記入してください。

## 【7】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。（正式受理書の発行は申し込み期間終了後、郵送にて発行されるものとします）

本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

## 【8】中止延期・エントリー費の返金

主催が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れがでた場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却いたします。1週間で切ったからの参加者理由による返却は行いません。

## 【9】厳守事項

1. 全てにおいて、時間厳守とします。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。  
やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。  
(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします)
2. ドライバーズミーティングは必ずドライバー全員が参加してください。
3. 参加ドライバー&チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。  
また、メインポストからのペナルティ等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。
4. 大会規則の遵守 全ての参加者は大会規則書の熟読・理解し規則を遵守すること  
(疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること)

## 【10】ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日ゼッケンを配布します。

配布されたゼッケンを参加車輛のドア部左右（両ドア）に貼り付けてください。

ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく必ず保持してください。

## 【11】走行時服装規定

参加ドライバーはヘルメット（JIS規格C種以上が望ましい）及びレーシンググローブ（指先まで覆うもの）必須。また、レーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの服（作業ツナギ服等、なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい）及び、運動靴での参加も可。

## 【12】車輛規定

1. 一般市販の自然吸気（NA）軽乗用車（普通車及び別車種のエンジン乗せ換え不可）
2. 駆動方式は自由とする。
3. エンジン、ミッション、CPU はノーマルのまま使用すること。
4. **機械式LSDの装着は不可とする。（車検時にジャッキアップにて確認を行います）**
5. 車両純正の燃料タンクを一切の改造を加えずそのまま使用すること  
（燃料タンクの改造・安全タンク・コレクタータンクなど一切禁止。）
6. 一般のラジアルタイヤ（Sタイヤの使用は禁止）フェンダーよりはみ出さないこと。
7. フェンダーは爪折り、叩き出し、純正改までは可とし、  
社外のオーバーフェンダー、プリスターフェンダーは不可とする。
8. 足回りの変更は自由とする。（別車輛の流用は可とする）
9. 4点式以上のシートベルト及び消火器を確実に取り付け着用すること。  
**消火器は車内の手の届く範囲に確実に固定をすること。**
10. ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの+ターミナルは確実にテーピングを行うこと  
※バッテリーをドライバーと同じ室内に移動する場合、  
バッテリーは金属製の留め金を使用し車体に確実に固定し、  
箱型の金属製カバーをボルトにて取り付けること。
11. 衝突・横転などでドライバー及び乗員の安全を確保できる車輛であること。  
運転席のドアは、内装含め純正・無改造のドアを使用すること。  
**ドライバーの安全保護の為、ロールバー及びサイドバーの装着を強く推奨します。**  
なおダッシュボードの取り外しは不可とする。  
助手席及び後部座席のガラス、内装は加工自由とする。ただし、助手席及び後部座席のガラスを  
変更する場合、アクリルもしくはポリカウインドウを装備すること。※フィルムの様な、薄く強度の無い物  
は使用不可運転席はドアビームの取り外しも不可とする。  
※オープンカーなどルーフ強度の無い車輛は、安全強度のあるロールバーを装備すること。
12. **排気系及び吸気系の交換は自由**とする。  
ただし、**最大音量は90dB未満を厳守**とし、また**最低一つ以上のサイレンサーを有**すること。
13. 前後に**牽引可能な牽引フックを確実に取り付け、矢印などで牽引場所を確実にわかる状態**にすること。
14. 油脂類（LLCクーラントも含む）の漏れ防止策及び、レベルゲージの漏れ防止策に講じること。  
※コースイン前にオイル、水、燃料等の漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまで  
コースインは一切認めません。
15. フロアマットなど、確実に固定されていないアクセサリ類は車室内及びトランクから排除すること。
16. ワイパー・ヘッドライト・テールランプ・ウインカー・ブレーキランプは正常に作動すること。  
※ヘッドライトは片側のみの装着でも可とする。
17. ウインドネット（手作り不可）を取り付ける場合は、  
ボルト等の金属製の物を用い確実に取り付けすること。
18. **室内エアダクトを設置する際、ボルト・リベット等を用いて確実に固定**すること。  
簡易的な取り付け（テープ・インシュロック等での固定）は一切認めない。
19. 屋根の素材変更はFRPまで可とし、変更する際は安全強度のある4点式以上のロールバーの装着が必須。
20. **他車との接触時に脱落する恐れのあるエアロパーツ（スポイラー・カナード等）の取り付けは禁止とする。**

改造範囲は上記の車輛規定に抵触しない範囲で安全であれば自由とする。

### 【13】車検

当日受付を完了させ車検準備が出来たチームは、車輛の駆動側をタイヤが浮く程度ジャッキアップをさせ、ボンネットを開けてヘルメットをひとつ車輛にのせて待機すること。車検が完了したチームからゼッケンを配布する。

### 【14】賞典

毎戦上位3チーム トロフィー+副賞 / 2020シリーズ上位3チーム表彰 トロフィー+副賞  
**専門/大学生区分は参加割引のみで、学生表彰はありません。**

### 【15】参加走行規定

#### 1. 予選

予選走行を行いスターティンググリッドを決定します。

#### 2. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは、予選32台の結果順になります。

#### 3. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。ペースカーを先頭にフィーメーションラップを開始。隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。この時、前車輛との間隔を極力詰めること。ブリジストンゲートで振る日章旗を合図にレーススタートとします。ペースカーがピットイン後もスタートライン手前は追い越し禁止です。コースイン終了時までには整列できない車輛はピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

※ピットスタートは、3分間のピットストップ後にスタート

#### 4. 走行中の運転席窓は全閉

走行中は選手席の窓は全閉で、ドアロックは解除してください。

ただし、ウインドネット装着の場合は、窓を開けての走行を可とする。

#### 5. ピットイン・ピットアウト

ピットイン・ピットアウトの際は必ず後続車に分かるようにウインカー等で合図すること。

急激な進路変更は大変危険です

**決勝中のピットアウトはオフィシャルの誘導はないのとしドライバーのタイミングでコースインとなる。**

#### 6. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰（オフィシャルの引き上げが必要）できない場合は、ハザードを点灯し車の中で待機すること。※車両火災時を除く

セーフティーカー介入後（場合によってはレッドフラッグにて走行中断）オフィシャルが迅速に車輛引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかにオフィシャルの指示に従い車輛を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる再検査（車輛点検）を受けた後、再スタートを切ることができます。

#### 7. セーフティーカー先導ラップ

走行に支障をきたす事故・車輛回収がコース上で発生した場合は、

フラッグポストより黄旗とSCボードを提示しセーフティーカーを介入します。

セーフティーカーの介入時は追い越し禁止となります。セーフティー介入前にピットに入っていた車輛はオフィシャルの指示のもとに最後尾につくこととする。また、セーフティーカー介入時によるドライバー交代及びタイヤ交換は禁止とする。

## 8、ピットロード

**ピットロード及びパドックはリバースギアの使用を禁止し、**

**ピットロード速度は20km/h以下を遵守しシートベルトは外さずに走行**すること。

(バックする場合は、必ず手押しすること)

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。

エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止とする。

## 9. ドライバーチェンジ

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、ドライバーチェンジの回数は5回以上とする。

なお、ドライバー交代場所でのピット作業は全て禁止とする。(エアチェックや冷却など)

もしピット作業をする場合は各自パドックで行うこと。その際のドライバー交代は不可とする。

## 10. タイヤ交換

練習、予選中のタイヤ交換は自由とし、決勝中のタイヤ交換は禁止とする。

ただし、決勝中にバーストなど予期せぬ状態に限り交換は良しとするがオフィシャル立ち合いのもと作業すること。

無断で交換した場合、ペナルティ対象として10分ストップとする。

### 【16】給油

決勝中の給油は無しとする。決勝レース開始前に燃料を満タンにすることを推奨します。

なお決勝中の燃料切れによるコース内での停止はリタイヤとする。

### 【17】計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了後は、先頭車両がスタートから

規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車輛からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。

但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

### 【18】レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブルにより競技の続行が不可能と競技長が判断した時は

下記の対処となります。 **※競技時間の50%~成立とする。**

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位(レッドフラッグの提示前の周回)を再スタートの順位とする。

また、再スタート終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。

### 【19】完走

チェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。

### 【20】クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印の入った文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、事務局へ提出してください。尚、クレームが成立した場合は申請料¥30,000は返却致します。 ※口頭でのクレームは一切受け付けません。

**全ての判断は運営側の一任となります。**

## 【2 1】 諸注意

危険箇所への立ち入り禁止。コース内やクラッシュパッド上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。

**火気厳禁** パドック内は禁煙です。喫煙は喫煙所をお願いします。

小さなお子様やペット連れについて 小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようにお願いします。又、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付け下さい。

サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能です。

## 【2 2】 ペナルティ

違反者に対し、黒旗と当該車輛のゼッケンがメインポストから提示される。

当該車輛はピットに戻り、オフィシャルの指示に従い、指定エリアに停止すること。

ペナルティストップの時間は、違反の軽重に基づき決定される。

## 【2 3】 クラッシュ共済

当サーキットの施設等を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。

そのための保険として任意でクラッシュ共済に加入することができる。

1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。

加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。

## 【2 4】 フラッグ（旗）・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、**重要なルール**となります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。

本大会では、フラッグの一部が通常の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。

危険回避出来る状態で走行してください。

黄旗＋SCボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止

ペースカーから指示のある場合は、指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾に着いてください。

赤旗→走行中断。追い越し禁止

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんがやむを得ない場合（悪天候によるレース中断等）に限り使用します。

緑旗→先に出した合図の解除（コースクリア）

黒旗→ピットイン命令。

非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティの対象車輛に対してのピットイン命令。

改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする（同じ理由のペナルティを2度受けた場合等）

日章旗→レーススタートの合図

チェッカーフラッグ→走行終了又は競技の終了。

【25】シリーズポイント及びハンディキャップ

- 1位・・・20ポイント
- 2位・・・17ポイント
- 3位・・・15ポイント
- 4位・・・13ポイント
- 5位・・・11ポイント
- 6位・・・10ポイント
- 7位・・・9ポイント
- 8位・・・8ポイント
- 9位・・・7ポイント
- 10位・・・6ポイント
- 11位・・・5ポイント
- 12位・・・4ポイント
- 13位・・・3ポイント
- 14位・・・2ポイント
- 15位以下・・・1ポイント

**毎戦優勝チームには、ハンデとして次戦からのドライバー交代を1回追加とする。**

**なお、2020年よりドライバー交代追加のハンデ年間を通して継続する事とする。**

**例：1戦目優勝の場合、2戦目～4戦目までのドライバー交代ハンデを1回追加。**

**例：シリーズ中2回目の優勝をした場合は、ドライバー交代ハンデは次戦より2回追加となる。**

【軽one 耐久事務局から】

昨年も多くの方々のご参加、心から感謝いたします。

2019シリーズより軽One 耐久シリーズのマフラー音量を90dbに規制させて頂く事となりました。

これに伴い、本戦当日に90dbを超過してしまった場合は、インナーサイレンサーを装着して頂く事となっております。

もし、本戦当日サイレンサーが装備できないマフラーであったり、サイレンサーを付けても超過してしまう場合レギュレーション違反の対象となり、失格とさせていただきます。

※フリー走行日や貸切走行日でも音量測定は可能ですので、ご心配なチームの方は走行前に受付でお声がけください。

誠に申し訳ございませんが、皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

軽one 耐久事務局